



シングルレバー 混合栓

台付タイプ

施工説明書

〔固定金具・ホースジョイントタイプ〕

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…

別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

製品同梱明細について…

別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

施工に必要な工具

- モンキーレンチ
- 立水栓取付工具
- マイナスドライバー
- プラスドライバー



取付けの前に

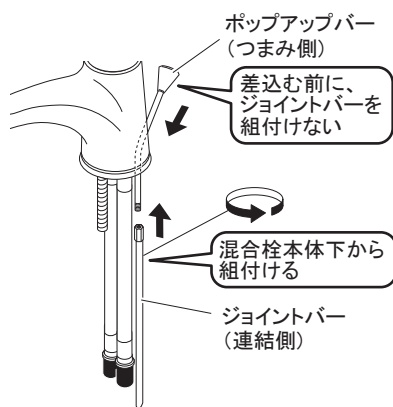
数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。



ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください。

取付方法

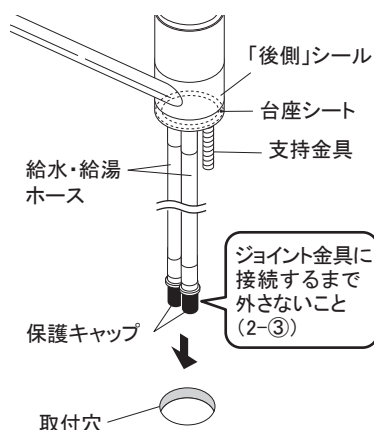
1.混合栓本体を取付けます。



- ①ポップアップバー(引棒)付の場合は、先にポップアップバー(つまみ側)を混合栓本体に差込みます。次に、ジョイントバー(連結側)を混合栓本体下から組付けます。
*混合栓を取付台に設置する前に作業してください。



混合栓本体に、ポップアップバーとジョイントバーを組付けた状態で差込まないでください。
故障・作動不良の原因になります。



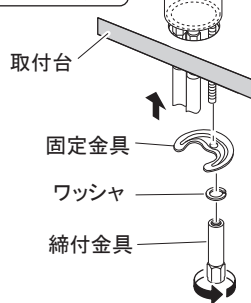
- ②混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取ります。
*給水・給湯ホースの先端の保護キャップは、取付けたまま作業をしてください。
- ③台座シートが付いた状態で、混合栓本体を取付台に差込みます。

取付方法(つづき)

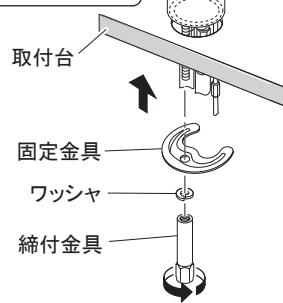
1.混合栓本体を取付けます。(つづき)

- ④支持金具に締付金具パーツを図を参考に通します。
- ⑤締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから、「立水栓取付工具」などでしっかり締付け混合栓本体を確実に固定します。
*「後側」シールが貼付けられている場合は、「後側」シールを真後ろに合わせます。
*水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度にあわせ位置決めをしてください。
*機種によっては、ワッシャのないタイプもあります。

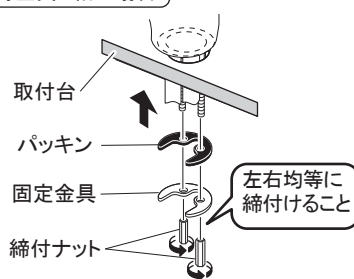
固定金具後側の場合



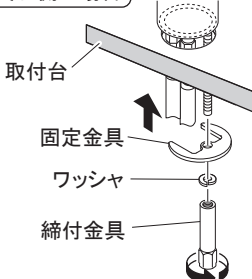
固定金具前側の場合



支持金具2軸の場合



固定金具右側の場合



- 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。
- 締付金具を締付ける際は、適切な工具を使用してください。締付ける際に、工具が給水・給湯ホースを損傷し、水もれの原因になる場合があります。
- 締付金具は、締付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドル部をもって、締付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 水栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

- ⑥下図を参照に、取付状態を確認します。

- *台座シートが取付台に全周接するように取付いているか。
- *固定金具が確実に取付台に掛かるように取付いているか。

正しい取付状態



誤った取付状態



- 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますのでご注意ください。
- 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

2.給水・給湯ホースを取付けます。

- ①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。



- ②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。



パッキンが付いていないと漏水します。
入れ忘れにご注意ください。

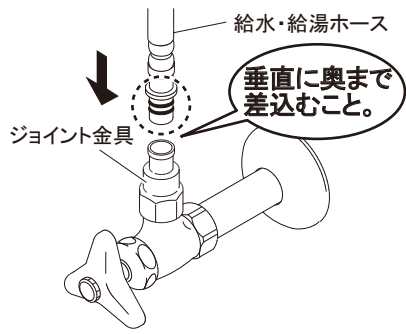


- ③給水・給湯ホースの先端の保護キャップを外します。

裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

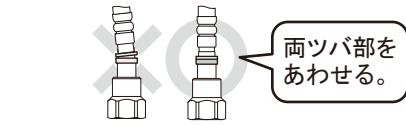
2.給水・給湯ホースを取付けます。(つづき)



④給水・給湯ホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

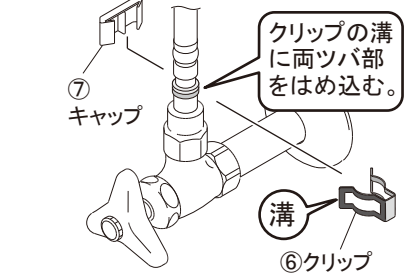
⚠️ ホースの湯(水)シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

❗️ 給水・給湯ホースをジョイント金具に差込むときは、リングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。



両ツバ部をあわせる。

⑤給水・給湯ホースがジョイント金具に正しく差込まれているか確認をします。

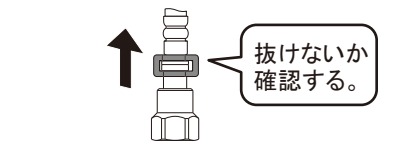


クリップの溝に両ツバ部をはめ込む。

⑥クリップの溝に、両ツバ部(給水・給湯ホース側とジョイント金具側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

⑦キャップをクリップに取付けます。

⚠️ クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。



抜けないか確認する。

⑧給水・給湯ホースを上を引き、確実に接続されているか確認をします。

⚠️ 確実に取付けないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

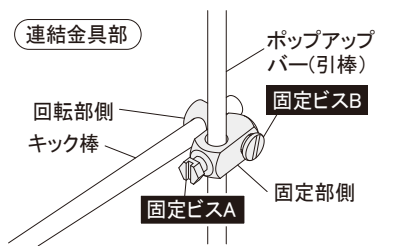
❗️ クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水・給湯ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。

⊘ 給水・給湯パイプ、給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。パイプ、ホースにキズが付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。

❗️ 給水・給湯パイプ、給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。

⚠️ 給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

3. 連結金具を接続します。(ポップアップバー付きタイプの場合)

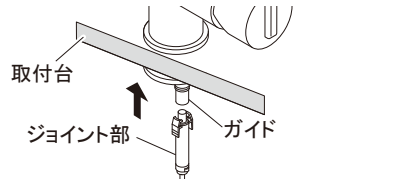


①キック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締付け、ポップアップバーに固定します。

②円滑に作動するように連結金具の固定位置を微調整します。

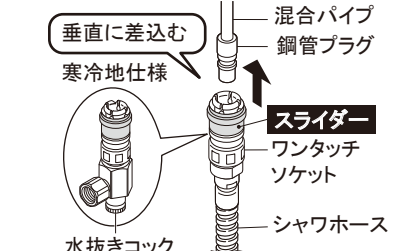
③調整後、固定ビスA・Bをしっかり締付けます。
*排水栓はポップアップバーを押すと開き、引くと閉まります。

4. 排水金具を接続します。(排水上部セット付きタイプの場合)



①排水上部セットに同梱されている施工説明書を参照して、排水金具を接続します。

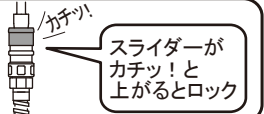
5.シャワーホースを取付けます。(引き出し混合栓タイプの場合)



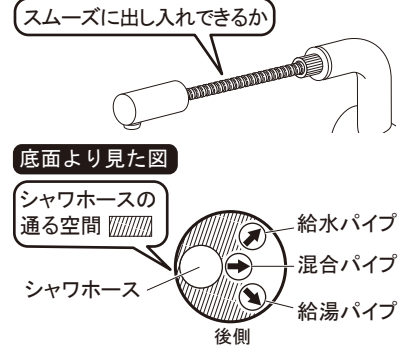
①ワンタッチソケットのスライダーが下がっている状態で、鋼管プラグに「カチッ」と音がする(スライダーが自動的に上がる)まで垂直に差込みます。
*ワンタッチソケットを外すときは、スライダーを下げながら下方に引っ張ってください。

②ワンタッチソケットを下方に引っ張り確実に取付いているか(鋼管プラグから抜けないか)確認をします。

❗️ ワンタッチソケットの接続が十分でないと漏水する恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。



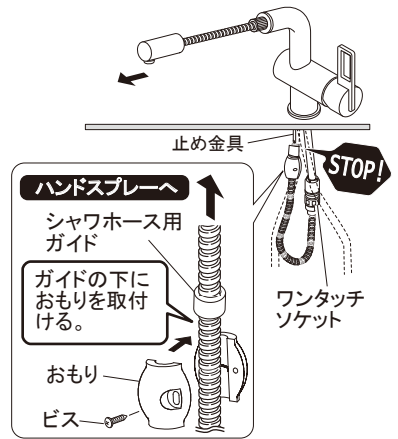
5.シャワーホースを取付けます。(引き出し混合栓タイプの場合)



③ハンドスプレーを引出し、シャワーホースに引っ掛かりなどがなく、スムーズに出し入れができるか確認をします。

④ハンドスプレーがスムーズに出し入れできないときは、左図を参考にシャワーホースの通る空間を確保をします。
*給水・給湯・混合パイプがシャワーホースを押さえ込まないように、右側に寄せ広げて調整してください。
*銅管部は、根元から急激に曲げないように注意して調整してください。

6.おもりを取付けます。(引き出し混合栓タイプの場合)

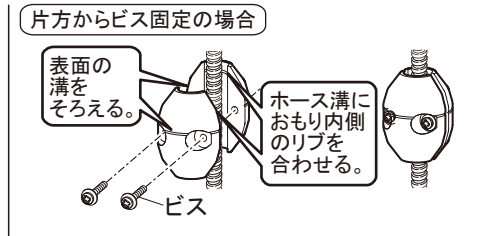
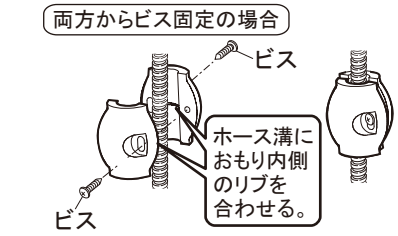


①シャワーホース用ガイドが自由に動かないか確認をします。
*シャワーホース用ガイドは、ハンドスプレーを引出したときに、おもりが給水・給湯・混合パイプに干渉するのを防ぐための部品です。
*シャワーホース用ガイドがテープで仮止めされている場合は外してください。

②シャワーホースの引き出す長さを決め、下図を参考にストッパーになる位置におもりを取付けます。
*図のようにシャワーホース用ガイドの下におもりを取付けてください。
*最大に引出したときに、水栓本体の止め金具にシャワーホースガイドが当たる位置に取付けてください。

❗️ シャワーホース用ガイド、おもりの順序を間違えないように取付けてください。

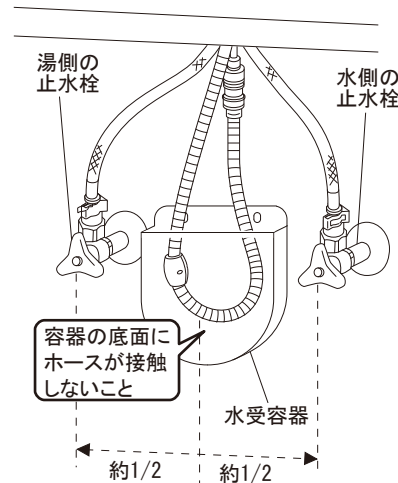
水栓に付属のおもりをご確認のうえ、下図を参考に取付けてください。



*ホース溝におもり内側のリブを合わせてビスで締付け固定してください。

❗️ おもりが配管と干渉するときは、配管の位置を調節してください。
●ハンドスプレーを最大に引出したとき、ストッパーがきいているか、混合パイプ、シャワーホースの根元に無理な力がかかっていないか確認をしてください。
●ストッパーがきいていないと、混合パイプ、シャワーホースに無理な力がかかり漏水を起こす恐れがあります。

7.水受容器を取付けます。(引き出し混合栓タイプの場合)



①水滴がシャワーホースを伝わって床に落ちる場合がありますので、【水受容器(品番4345:別売)】を必ず設置してください。

❗️ 水受容器は湯水の止水栓の間(水栓本体の真下)に設置してください。

②取付後は、ハンドスプレーを何度か出し入れし、水受容器内にシャワーホースがいつでも収納されるか確認をします。

❗️ シャワーホースが収納されないときは、おもり(ホースストッパー)の位置、給湯・給水・混合パイプの曲げ方向で調整してください。

取付後の点検

①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
②ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書を参照して調節を行ってください。